



校内で特別支援教育コーディネーターが「LD、ADHD、高機能自閉症等の理解と指導」の研修をするなら、次のような点に気をつけましょう。

- 1 あらかじめ、LD、ADHD、高機能自閉症等の障害について、県立教育研究所のガイドブック等を参照しながら、話し合う。
- 2 LDについては「疑似体験」をする。(演習)
- 3 ADHDについては、「子育ての基本」を伝える。(子どもの見方、とらえ方)
- 4 高機能自閉症等については、「自閉症」の理解と対応について、しっかり学ぶ。

〔このスライドの内容は、3時間程度のものですが、研修時間によっては数回に分けて計画していただくことは可能です。〕



事例検討の研修会をするなら次のような点に気をつけましょう。

- 1 実際の事例を出し合い、検討した方がより研修の内容が深まり、理解しやすい。
- 2 障害を特定するのではなく、「子どもが今困っていることは何か。うまくいった支援は何か。」について話し合うことが必要である。